



知識情報・図書館学類誌 MILK とは?

M Management

IInformation

L Library
K Knowledge

2007年の創刊以来、学類生ならではの目線で学類生に有益な情報を年2回(7月・12月)お届けしています。

CONTENT

知識科学主専攻

	歳森敦研	究室・	•	•	• •	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	• 0)2	
	上保秀夫	研究室	•			•	•	•			•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	• 0)3	
	横山幹子	研究室	•			•	•	•			•	•	•	•				•	•	•	•	•	• 0)4	
	照山絢子	研究室	•			•	•	•			•	•	•	•				•	•	•	•	•	• 0)5	
	于海涛研	究室・				•	•	•			•	•	•		•			•	•	•	•	•	• 0	6 -	08
	歲森敦研 上保秀夫 横山幹子 照山絢子 明山絢子 野海涛研 叶少瑜研	究室・	•	•		•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	• 0	9	
知	識情報	シス	ラ	- 1	ے 3 کے	È	専	IJ	Z																
	宇鈴加阪関高時若森原以上,一個大學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學	松村	敦	研到	空子	2	(注	1)	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	• 1	0 -	11
	鈴木伸崇	研究室	•			•	•	•			•	•	•	•				•	•	•	•	•	• 1	2	
	加藤誠研	究室・	•			•	•				•	•		•				•		•	•		• 1	3	
	阪口哲男	研究室				•	•					•	•	•	•			•	•		•		• 1	4	
	関洋平研	究室・				•	•					•	•	•	•			•	•		•		• 1	5	
	高久雅生	研究室				•														•			• 1	6	
	時井真紀	研究室																					• 1	7	
	若林啓研	究室・																					• 1	8	
	森嶋厚行	· 松原	īΕ	樹。	• 伊	藤	實	祥	5#3	空字															
	(融合	印能デ	#.	イン	が	字	室) .	•	•													• 10	9 -	20
	(融合) 落合陽一	研究室	(注	1)	•	•	•		•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	• 2	1	
	報資源																								
	逸村裕研	究室(注	1)	•	•	•	•	•			•	•	•	•	•			•	•	•	•	• 2	22	
	鈴木佳苗	研究室		•			•	•	•		•	•	•	•	•	•			•	•	•	•	• 2	23	
	吉田右子	研究室				•	•	•			•	•	•		•			•	•	•	•	•	• 2	4	
	綿抜豊昭	研究室				•	•	•			•	•	•		•			•	•	•	•	•	• 2	25	
	村井麻衣	子研究	宰			•														•			• 2	26	
	小泉公乃	研究室				•	•											•					• 2	7	
	逸村裕研 鈴木佳苗 吉田右子仔 綿抜豊昭 村井麻衣 小泉之上	究室・																					• 2	8.	
	バールイ	シェフ	• :	I	ドワ	ル	ド	研:	究至	≧•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	• 2	9	

※執筆を承諾していただいた先生方のみの掲載となります。 学生を募集する研究室のすべてについては、学類からの掲示などでご確認ください。 なお、本冊子に記載されております情報は 2020 年 9 月時点のものです。

(注1) 10月11日に追加された研究室紹介です。

歳森研究室

tosimori@slis.tsukuba.ac.jp

研究テーマ

現代に生きる我々は、人から聞く、テレビで見る、新聞で読む、ネットで調べる等、いくつもの方法で情報を得て、知識を獲得します。このような情報源の選択や情報の評価の際の人間の行動と意識を量的調査の実施とその計量的な分析から解明していきます。

過去の卒業論文のテーマ

- ・グルメサイトの利用が購買行動に与える影響
- ・大学野球部員のキャリア成熟と部活動経験の関係
- ―個人的および組織的な経験に着目して―



●学生研究室

7B240

机,研究室のパソコンとプリンタ,ホワイトボード, モニターがあります。

池内研、辻(慶)研、三波研の方々と一緒に使っています。

●ゼミ

週1回, 2時間程度

基本的には上記の通りですが、自分の予定や進捗によってまちまちです。



●卒業後の進路

- ・東京電力
- Softbank
- 野村不動産
- Accenture
- ・公務員

etc.



歳森研究室とは? ゼミ生が答えます!

1. 自分と向き合う

- 各自向き合ってください。「何をしたいか」 くらいの問題だと思います。

2. 先生と自分の相性

- 「来るもの拒まず去る者追わず」な先生だと思います。でも,面談はしたほうがいいと思います。面談といっても,気負わずに,ぼんやりと考えていることでも話してみてください。

3. コアタイム

- ありません。好きな時に来て,好きな時に帰っています。

4. 研究環境

- 足りないと思うものは先生に相談すれば,用意してくれる,あるいは代替策を一緒に考えてくれます。

5. 研究業績

- 卒論は, みんな苦労していますが, みんな卒 業しています。頑張りましょう。

6. 良い先輩がいるか

- 大学院生が2名います。優しくて、頼り甲斐があるいい先輩(なはず)です。

7. 学生同士の人間関係

- 付かず離れずだと思います。

8. 卒業生の進路

- なんとなく立派にそれぞれの進路に進んでいます。

*1 http://www.wynned.com/entry/how-to-pick-lab

上保研芳室

研究室: ユニオン 401 号室

指導教員:上保秀夫(7D408号室)

ホームページ: https://docs.joholab.com/lab/



研究領域

情報探索行動と情報検索の研究開発をしています。

サーチエンジンに代表される情報検索システムとユーザのインタラクションを、認知・行動・感性の側面から分析し、新しい検索手法の開発に応用する研究を行なっています。近年では特に、スマートスピーカーやチャットボットなど自然言語による会話を主体としたインタラクション空間において、情報検索プロセスを最適化させる手法について取り組んでいます。また、スマートフォンやスマートウォッチなどのウェアラブル端末によって収集される個人ライフログデータへのアクセス手法についても取り組んでおり、子どもや高齢者を対象としたデータリテラシ教育への応用を視野に入れた研究を行なっています。



アレクサの検索システムを活用している様子

将来的には、IoT機器が収集・発信する多様な外部データとユーザ固有のライフログデータを有機的に統合したネットワーク空間において、ユーザとシステムが自然言語を介した混合主導による情報検索やデータ理解を実現することが目標です。

主な活動内容

思い切って研究する、思い切って遊ぶ~

- ・週一回個別ゼミ
- ・週一回論文読み会
- ・Daily Check-in (昨日どのような進捗があったか、 今日はどんなタスクを進める予定かを共有する)
- ・ランチミーティング(不定期)
- ・月報動画(研究アイデアをシェアする)
- ・上保・加藤・于研究室合同研究発表会 (年二、三回)

- ・クリスマスランチ
- · 公園 BBQ

楽しく研究できます!





メンバー構成

学類四年生 四名 博士前期 五名 博士後期 二名 やる気のある学生を 募集しています!!!

研究アーマー寛



• 学類生

インタラクティブな情報検索による SNS プロフィール作成支援 スマートスピーカーを用いた高齢者の社会参加支援 知識ギャップを補完するリアルタイムフィードバックシステムの提案 長距離移動車内における周辺情報に基づいた話題推薦と音声会話検索

・博士前期

Twitter での情報共有行動の分析と誤情報拡散抑制への応用ニュースにおける時間的な情報検索会話式情報検索における対話管理手法の開発と情報ニーズ解明への応用会話推薦システムにおける説明の効果マルチモーダルにおける CNN/RNN を用いて感情分析についての研究

• 博士後期

User modeling towards stateful learning to rank Conversation-Assisted Document Search

横山研究室

横山研究室では、哲学的視点から、知識を巡るさまざまな問題を扱います。学生は、知識の本質、知識の限界、知識の共有等々さまざまな問題に取り組んでいます。

「哲学的視点から」の意味、卒業研究の二つの方向性

①主張したいことを言うために、哲学での議論を参照する。たとえば、「公案解釈に、ポール・グライスの会話の理論を使う」、「ウォルトンのごっこ遊び理論を使い演劇論を考える」 ②哲学で問題になっていることについて、他の哲学者の議論を参照に論じる。たとえば、「哲学の方法論として直観は使えるか」、「人間とコンピュータは違うのか」

現在のゼミの概要

現在のメンバー: 4年生3名 大学院生1名:研究室(7D517):募集:3名

例年:長期休暇の例外を除き、週1回のゼミ。ゼミの日時は、ゼミ生の1週間の予定を考えて、ゼミのメンバーが決まった時点で、相談して決めます。ゼミにかかる時間は、大体、2時間から3時間です。一人一人が1週間でやってきたことを発表し、それに対して、ゼミ生と教員で議論します。それを人数分繰り返します。3年生の内にテーマを絞り、4年になってから先行研究の調査、中間発表後は、テーマについての考察というのが一般的な流れです。

現在: 週1のペースで上記の内容でゼミを行っていることは同じですが、状況に配慮し Zoom でゼミを行っています。(今後対面ゼミに戻すか、しばらく Zoom での開催になるかは 状況に依存します。)

2020 年度ゼミ生 (院生含む) の現時点での研究課題

「別役実作品におけるディスコミュニケーションの分析:グライスの会話の理論を用いて」

「漫才とコントの比較分析:ウォルトンのごっこ遊び論を用いて」

「意識のハードプロブレム:人工意識の開発者の考えを手がかりに」

「理論の決定不全性と知識の伝達:本質主義の検討を通して」

卒業後はどうするのか?

いろんな人がいます。大学院に進学した人、大学の図書館員になった人、故郷に帰って市役所に勤めた人、高校の数学の先生になった人、SE やテクニカルライティング関係、金融機関や食品関係の会社の総合職、専門学校に行きなおしてマッサージ師という人もいました。本当にさまざまです。どんな仕事についても役に立つ、問題を発見し、その問題について論理的に考え、問題を解決していく力を身に着けていただければと思っています。

興味のある方は、横山 (mikiko@slis.tsukuba.ac.jp) までご連絡ください。

照山研究室

1. 概要

現在のメンバー:4年生5名(科学3名、資源2名)

研究室:情報メディアユニオン 3 階・学系共同研究スタジオ 4 (303-1)

(常駐可、ソファー、PC 等あります。) ※叶研との共同研究室 形式:週1回2限連続でゼミをしています。文献の輪読、調査報告

等、担当者がレジュメを作って発表します。長期休暇中はゼミなし (各自じっくりフィールドワークに取り組むことを期待します)。

連絡先:teruyama@slis.tsukuba.ac.jp (照山絢子)



2020年:長野合宿での写真

<u>2. メンバー募集</u>

基本的には調査の方法として、「フィールドワーク」を伴う研究をサポートします。 具体的には:

- ●特定の場やコミュニティに所属する人々、また特定の属性を持つ人々について研究する。(例)図書館、特定の店、地域の集まり、患者会、自助グループ、社会運動グループなど
- ●コミュニティに出向いて活動を共にしたり、所属する人々にインタビューを実施したりする。
- ●コミュニケーションを通じて彼らが共有する文化、価値観、規範などを明らかにしていく。

フットワークが軽く、人と話すのが好きで、幅広い興味や問題意識を持てる学生を募集します! 受入人数:最大5名知識科学主専攻3~5名情報資源経営主専攻0~2名

今年の4年生の研究テーマ

- 大学生の聴覚障害者におけるスポーツ活動に対する動機と展望
- ・大学生のゲームとの付き合い方に関する研究ーライフストーリー研究に照らし合わせて一
- ・新型コロナウイルス感染拡大についての医学生の見解に関する研究
- ・「ボランティア」に着目したプロスポーツチームとサポーターの関係性に関する研究
- ・ハンドボールにおける活動的地域の「地域性」―競技者のライフストーリーをもとに―

3.Q & A

- Q1. 卒業研究はどのように進めますか? 先生に相談しながら進められますか? 基本的に研究は各自で行いますが、先生から適切な指導と助言を頂きながら進められます。
- Q2. 研究テーマはどのようなものがありますか?

特定のコミュニティでのフィールドワークという点は共通していますが、内容は人によって様々です。

多種多様な分野の研究や意見について学んだり議論したりできるため、 とても刺激的です。

Q3. 飲み会やゼミ合宿はありますか?

飲み会は年に2~3回、慰労会のような形であります。合宿は現地で 調査を行う研究旅行です。

(合宿の実施は新型コロナウイルスの状況により決定)

Q4. どのような雰囲気の研究室ですか?

和やかな雰囲気の研究室です。ゼミ生間で活発に意見交換が行われ、 色々な考え方に触れられます。



2020年:長野合宿での写真

筑波大学II研究室

于研究室

Ⅱ研究室は、情報知能の研究を行っている研究室です。

II は、Information Intelligence の略です。研究室の詳細についてはホームページをご覧ください。

ホームページ: https://ii-research.github.io

研究室メンバー (2020)

所属	人数	所属	人数	所属	人数
教員	1	博士前期	4	学類4年	1

ゼミの頻度・年間スケジュール

ゼミは週 1 回行います。ゼミの前にはラボノートを準備してくるのがルールです。 また、着手発表会や中間発表会の前後に学内外他研究室との合同ゼミを行い、多様な フィードバックを得ながら研究を進めていきます。

月	イベント	月	イベント
12 月	ゼミ開始	9 月	第2回合同ゼミ
1-3 月	基礎固め・トピック選び	10 月	中間発表会
4 月	第1回合同ゼミ	11 月	第3回合同ゼミ

5月	予備調査	12 月	卒論執筆・提出
6 月	着手発表会	1月	最終発表会
7-8 月	データ収集・解析	2-3 月	学会等論文投稿

学生の研究テーマ例

- 敵対的学習を用いたランキングモデル
- 画像検索における画像生成技術の活用に関する研究
- ヒントワードを活用した画像キャプションの自動生成
- 複数のドメインにまたがるランキングのためのディープメトリック学習

Ⅱ研究室の最近のニュース

- 2018.10: 于先生が筆頭著者の、ランキング学習に関する論文が、WSDM2019 に フルペーパーとして採択される(採択率 16%=84/511 投稿)
 https://dl.acm.org/doi/abs/10.1145/3289600.3291006
- **2019.03**: 村本さん (2019 年卒業) が筆頭著者の、画像におけるキャプション自動生成に関する論文が、情報知識学会誌に採択される。

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsik/29/2/29 2019 029/ article/-char/ja/

- 2020.07: 村本さん (修士 2 年) が筆頭著者の、ディープメトリックラーニング (Deep Metric Learning) に関する論文が、CIKM2020 にショートペーパーとして採択される(採択率 26%=103/397 投稿)。
- 2020.09: 村本さん(修士 2 年)が CIKM2020 の発表について, ACM SIGIR Student

Travel Grant を獲得しました。

研究室に参加するには

毎年 10 月に開催するオープンラボに参加することをオススメします。それまで待てない、という方は個別にメールをください。連絡先はホームページにあります。

メディア心理学研究室の紹介

教員:叶少瑜 Email: shaoyu@slis.tsukuba.ac.jp

・研究室 教員:7D206 号室 学生:ユニオン303-1

・ゼミ指導:全体ゼミによる進捗報告とともに、必要に応じて個人指

導による指導も行います。

★研究内容: 主にメディア心理学のアプローチから, 対人コミュニケ

ーションにおけるメディア使用の影響を究明するため、

主として量的調査法と実験法を用います。

★研究に対する捉え方:料理することと同じだと思っています(笑)。



本研究室では、現在以下のような研究を進めていますが、これらに限定されずに、コミュニケ ーションとメディアに興味・関心のある方を歓迎します。なお、本研究室は人を対象にする研究 するため、フットワークが軽く、人間嫌いではない方を優先して受入れます。

【メディア使用と幸福感】

対人信頼感の高い人がより幸せに感じ ていますよ! それは、対人信頼感の高い 人は対面でもオンライン上でも多くの人 と交流し、広い社会的ネットワークを構 築することができ、様々なサポートが得 られるため、心理的幸福感を高めること ができるのです。では、どうすれば信頼 感を高めることができるのでしょうか。

【安心・信頼と異文化適応】

異文化コミュニケーションの視点か ら、内集団に対する安心感と外集団に対 する信頼感がいかにソーシャル・サポー ト・ネットワークの形成と被受容感、及 び異文化適応に影響を及ぼすのか、ま た、対面に比べて、様々なメディア/ソ ーシャルメディア使用がどのような影響 を及ぼすのかを研究しています。

【ゲーム依存・ネット依存等】

依存研究はここ 20 年間ずっと議 論されて,「長時間使用≠依存」こ とが分かってきました。特に COVID -19 の影響で会いたくても会えない 状況の中、対面によるコミュニケー ションが大幅に制限されていると同 時にオンラインコミュニケーション が激増しています。授業も余暇もオ ンライン化していく中、依存研究が ますます重要になってきています。



学会発表にて優秀賞受賞



2016 年度卒論生渋木さんが 2016 年度卒論生内田さんが 学群長受賞

宇陀則彦・松村敦研究室紹介(用語集)

雨男

宇陀先生の別称。雨が降ると「宇陀先生、近くにいる?」と言われる。体調がよいと嵐になり、体調が悪いと晴れる。

アレクサ

2020年に仲間入りを果たした研究室のマスコットキャラクター。たまに音楽を聴いたりピカチュウを呼び出したり使っている。怜ちゃん先輩のアカウントに連動しているので請求を気にせず注文できるところが気に入られている。「アレクサ!うまい棒100本注文して」

うだまつ研

宇陀研と松村研がゼミや合宿やイベントを共同 で行うときに、まとめて呼ぶときの名称。

うどん

松村先生の好物。つくばにはいいうどん屋がないので、第一回ゼミ合宿を香川にしたほど。東京授業の日に、TOKYO LIGHT BLUE HONGO-3(旧こくわがた)に寄るのが楽しみ。

絵本

松村研のメインテーマの一つ。子どもにあった絵本をすすめるという課題に対して、実験、調査、システム開発と多面的なアプローチで研究している。絵本好きなら誰でもウェルカム!

王将

宇陀先生の青春の味。宇陀先生にとって王将とは 「餃子の王将」のことで、「大阪王将」は認めて いない。餃子の焼き方は店によって上手い下手が あるとのこと。

大場大先生

B4のシステム実装のためにどこからかやってきて助言してくれる偉大なお方。昨年も導かれたゼミ生がいるという。来年もいるらしい。いつもありがとうございます…。

お菓子大臣

研究室に常備されているお菓子の買い出しを担 当する係。大臣と副大臣がいる。宇陀先生の指定 により、黒豆せんべいは必ず買うことになっている。

オープンラボ

毎年10月の研究室選択の時期になると開催される。研究室パンフレットを準備し、先輩たちが後輩に直接研究室の説明をする。3年生だけでなく、2年生や1年生も来てかまわない。コロナ禍の今年はオンラインで開催される。

仮想背景

オンラインゼミならではの遊び要素。みんな自分 好みの背景を使っている。感情表現も仮想背景で 行える。

課題図書コーナー

研究室の一角に設けられた書籍スペース。研究室内外の人が「ぜひ読んでほしい本 (漫画含む)」を置いて行っている。最初は宇陀先生のイティハーサを置くために作った机上スペースだったが、その後作品が増え続け机を圧迫し始めたので移動した。ハマるかハマらないかは読んでみないとわからない。

近未来シリーズ

学園祭で出展する企画名のこと。グランプリを3 度受賞している。国立国会図書館のカレントアウェアネスに記事が載っている。去年10周年を迎えた。

今週の松村研

松村研ゼミの冒頭で、この1週間にあった研究以 外のことを話す時間。松村先生の家庭の話やゼミ 生のバイトや部活の話など普段は見えにくい一 面が見られて、親睦を深めるのに一役買っている。

真の終電

つくば〜柏の本当の終電のこと。松村先生がTX 通勤7年目の秋、パパ友の一言でそれまでの終電 の概念が覆され「真の終電」が生まれた。真の終 電が発動されるのは、真の修羅場だけ。

スクラップボックス (Scrapbox)

ゼミ資料置き場。zoomの画面共有は重いので、 こっちへと移行した。みんな見られて編集ができ るすごいもの。ファイルのアップロードもできる ようになったのでさらに有能度があがった。

ゼミ

週一で行われる議論の時間。宇陀研は1時間もかからない。松村研は5時間におよぶことがある。 個別ゼミを行うことがある。今年度はコロナの影響で完全にオンライン化されている。

知識情報空間

宇陀研のメインテーマの一つ。知識創造を行う活動としての「場」に関わることなら何でもよい。 知識について考えたい人はウェルカム!

なおちゃんBOT @naotyan bot

なおちゃんの発言をまとめたbot。常に爆笑を巻き起こす彼女の発言を残しておこうという動きから実際に作成された。例「やせたーい(とんかつを食べながら)」。日々爆笑発言が繰り出されるため、登録が追いつかない。

夏合宿

夏休みの合宿。遠くに行くことと卒論/修論に関わらない研究活動が目的。これまで、高松、函館、津、青森、熊本、広島、金沢、倉敷、米沢を訪れた。現地集合、ホテルは各自確保で一度も「合宿」であったことはない。2019年度は10年ぶりに実施しなかった。2020年度はコロナ禍で実施できなかった。

7 D 2 4 0

我らが共同研究室。長谷川研とも共同。ソファー、電子レンジ、電子ケトル、冷蔵庫が備わっており、あとシャワーさえあれば暮らすことができる環境。発表会前や卒論提出前はお風呂に入った後、また戻ってきて夜を明かす人が続出する。7D240にあるプリンタは複数の先生で共用しているので、出力を取りにくるとき、怪訝な目で見て去っていく。

ねこかん (猫缶?猫環?猫換?)

早く実装が渇望されるシステム。猫をみて癒されたい…。猫猫猫猫猫猫猫猫猫

パパコレ

「パパこれ買ってー」の略。研究に必要な文献等を先生に頼むためのSlackチャンネルの名前。買

ってくれるのは先生なので、つまり先生=パパな 訳だが、指導教員をパパと表すという何とも業の 深い命名である。別にリアルで先生方をパパと呼 んでいるわけではない。

ピザ

発表会直前などで、皆が焦りだすと先生が注文してくれる。経験則により、4人にLサイズ1枚で計算するとちょうどよい。

ふぃーちゃん

ある日突然研究室にやってきたアザラシの赤ちゃん。正式名称はセラピー用アザラシ型ロボット「パロ」。その愛らしい姿と声で悩み多き人々を癒している。濡らすとお腹を掻っ捌いてバッテリーを抜かないといけないので細心の注意が必要。なお本名はとても長い。最近は棚に入りっぱなしで出てこない。

プチ合宿

夏休みの1週間、教室を借りて(大抵7A208)、朝から晩まで集中して卒研等を行う会。みんなで出前をとる昼食が楽しみ。過去、プチ合宿によって卒研が格段に進んだという例が多い。コロナ禍の今年は、ユニオン1階講義室の広大な空間を少人数で独占するという贅沢を味わうと同時に出前館のお得意様になった。

フリーアドレス制

うだまつ研の特徴の一つ。7D240は席が固定されておらず、どこでも気分に応じて自由に席が選べる。コミュニケーションが活発になり、知識創造が起きやすい。なお、コロナ…

みかりんBOT @mikarin bot

なおちゃんBOTに憧れる半人前のbot。もっと落ち着いた大人になるために日々活動中。「鳥をパタパタさせたいぞ!わたしは鳥をパタパタさせたいぞ!」

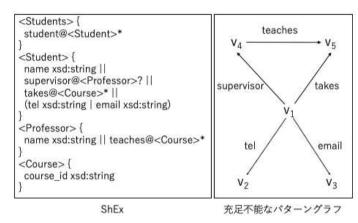
怜ちゃん先輩

進捗がない…と嘆いているとどこからともなく 現れて「それが進捗!」とほめてくれる優しい先 輩。研究室のことなら何でも知っている。

鈴木伸崇研究室

当研究室は、RDF/グラフデータや XML/HTML および CSS など、主に「構造を内包するデータ」について研究を行っています。老若男女を問わず、意欲のある方のご参加を歓迎いたします。

RDF/グラフデータ 近年, RDF/グラフデータに対して, Shape Expression (ShEx)など記述能力の高い新たなスキーマ言語が提案されています. また, グラフデータにおいて一般的に用いられる問合せとして, パターングラフを用いたものや Property Path などの経路探索を行うものがあります. 当研究室では, 問合せ式が ShEx に適合するものであるかどうか (充足可能性判定), 問合せ式の包含性判定などを行うアルゴリズムを開発しています. このほか, ShEx のスキーマ進



化, 大規模なグラフデータの概形・要約を得る (スキーマ抽出) アルゴリズムなどについて研究しています.

XML/HTML/CSS スキーマに適合しない XPath 式を正しい式に自動修正するアルゴリズムを開発しています. 構造的に正しい XPath 式は通常複数存在するので、グラフ理論を応用し、ユーザの記述した式に近いものから順にユーザに提示できるようアルゴリズムを構成しています。 このほか、JSON の問合せ式である JSONPath の充足可能性判定、CSS の充足可能性判定、XML スキーマ進化などについて研究を行っています.

<u>電子書籍(EPUB)</u> 自作の EPUB ファイルには表紙が与えられていないものが数多くあります. しかし, 書籍の表紙は選書の重要な手がかりとなるため, 書籍の内容に合った表紙を自動的に生成できれば有用であると考えられます. 当研究室では, EPUB ファイルのテキストデータを解析して, その印象に合った色およびフォントの推薦やイラストを推薦するシステムなどを開発しています.

人が参画する計算モデル 近年, クラウドソーシングなど, 人と計算機が協調して処理を行う計算の形態が注目を集めています. このような計算処理では, 参画する人(ワーカ)も処理すべき仕事(タスク)も多様であり, ワーカをタスクに適切に割り当てることが重要となります. 当研究室では, ワーカをワークフローのタスクへ適切に割り当てを行うアルゴリズムなどについて研究しています.

その他 上記のほか、NIMS(国立研究開発法人物質・材料研究機構)と共同で深層学習を用いた結晶の回折画像の解析なども行っています.で質問があれば鈴木(nsuzuki@slis.tsukuba.ac.jp)まで遠慮なくお寄せください.

受け入れ人数:3名(希望者が多ければ最大5名まで)

学生数:院生3名+学類生5名

ゼミの頻度:週1回+a

研究室: 7D204 (教員), ユニオン 3F 学系共同研究スタジオ 3 (学生)

研究室 Web ページ: http://nslab2.slis.tsukuba.ac.jp/

筑波大学知識獲得システム研究室 UNIVERSITY OF TSUKUBA KNOWLEDGE ACQUISITION SYSTEM LAB.

2019年度から新設の新しめの研究室です。2期生を募集しています。

Web サイト: http://kasys.slis.tsukuba.ac.jp/

E-mail: kasys-contact-ml@klis.tsukuba.ac.jp 今年度受入人数: システム 3 科学 0~2

今年度在籍者数: 学類生 5 博士前期 3 博士後期 2

教員部屋: 7D 3 0 8

学生部屋: ユニオン2F 共同研究会議室2

週間予定: ゼミア5分 ミーティング30~60分

(1月~6月のみ) 輪講×2 各75分

主な研究分野

本研究室では**情報検索分野**の下記の研究分野を主な対象としています: 検索モデルとランキング、ランキング学習、検索意図推定、知識ベース構築、知識ベース応用、Webマイニング、情報抽出、検索ユーザ行動分析、検索ユーザモデリング

主な研究トピック

本研究室の主な研究トピックは**知識獲得システム**です:

- 1. 多くのリソースから知識を自律的に獲得するシステムを構築する(単純な例: テキストから因果関係を抽出する)
- 2. 構造化された知識を人が検索するためのシステムを構築する(単純な例: 人物検索、商品検索)

主な研究テーマ(2020年現在)

本研究室の 2020 年現在の主な研究テーマは**データ検索**です。以下に研究テーマの例を挙げます:

- 1. 「音楽業界は衰退しているか」や「どの企業がブラック企業か」などの疑問に答えるために Web からデータを検索
- 2. 「2006 年から○○の売上が伸びている」や「茨城県南部では○○が増加」などのデータを考察する文章を自動生成
- 3. グラフや統計データから自動的にその内容を要約するよう なグラフを生成
- 4. Web 上の統計データなどを解析することによって、それらを活用できるように変換し集積するシステムを構築
- 5. Twitter や Web 検索エンジンのログなどから、明日の豆腐の消費量や筑波山の登山者数などを自動的に推定

過去の研究テーマ

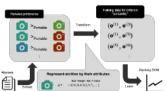


RhythM Xearch

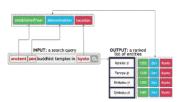
2つのモノを足して2で割る検索: 「宇多田ヒカル」と「X JAPAN」を足して2で割ったような音楽を検索



アナロジーでモノを検索: 京都で言うところの「川床」のようなお店をつ



経験でモノを検索: 「夜景が綺麗に 撮れる」や「持ち運びやすい」など、 得られる経験をもとにカメラを検索



修飾語でモノを検索: 「歴史ある」 寺や「広い」ホテルなど、修飾語を考 慮して検索

年間スケジュール(予定)



輪講(週75分)

教科書輪講とプログラミング輪講があります。教科書は情報 検索の基礎(1月~2月)、言語処理のための機械学習入門(3 月~4月)、しくみがわかる深層学習(5月~6月)を使う予 定です。プログラミング輪講では Python を用いる予定です。

研究紹介(週75分)

自分の近況や研究内容などを紹介する時間です。

ミーティング(週30分~60分)

基本的に1対1で研究の内容について議論する時間です。

プロジェクト研究発表会

基礎的な研究プロジェクトに参加し、その成果を内輪で発表 してもらいます。

ECIR・SIGIR 締切

ヨーロッパで開かれる情報検索の国際会議の締切。研究が順調に進めば、短い論文(ショートペーパー)を投稿して海外で発表できるかもしれない。

DEIM 参加

国内で開催される学会。基本的にみんな出して発表します。

阪口研究室とは?

~快適な情報共有・伝達基盤を求めて~

どんなことをやるのか?

- 情報の共有や伝達を支える技術を念頭に
 - 情報の共有や伝達を快適に行う(大目標)
 - そのために様々なアプリケーションシステム (アプリ) が構築されている
 - 「快適」には「安全」や「安心」も含まれる
- 快適なアプリの構築と、その構築そのものも快適にしたい!
 - 最近はLinked (Open) Dataの利活用を中心にしてますが、それに限りません!
 - 例えば、一企業に牛耳られるような心配がない、Internet本来の自立分散型の情報 共有や意思伝達ツールの新たな姿を考えてみる?
- 今使っているシステムは快適ですか?
 - そうでないなら改善を目指そう!

最近の主だったテーマ例 (他研究室と共同のものもあり)

- Linked (Open) Dataの開発・接続・検索 (発見) の支援
- マイクロタスク型Crowdsourcingプラットフォームの開発 Crowd4U/FusionCOMPプロジェクトの一環

(これまでのテーマ例は下記Webページをご覧ください)

キャッチフレーズは「動いてナンボの阪口研」!

電気工学やハードウェアから、ネットワーク全7層、ソフトウェアはOSからアプリケーション、そして図書館学を学んできた指導教員によるアドバイス有口:-)

氏名: 阪口 哲男

Webページ: https://www.sakalab.org/(3年生向けページはここからリンクします)

Eメール: saka あっと slis.tsukuba.ac.jp

研究室: 7D312 (春日エリア7D棟3階)

共同研究室: 学系共同研究スタジオ3 (情報メディアユニオン棟3階)



コミュニケーション理解研究室

関 洋平 筑波大学 図書館情報メディア系 yohei@slis.tsukuba.ac.jp





コミュニケーション理解研究室では,人間の言語理解の過程を明らかにしつつ, 人と人あるいはコミュニティとをつなぐコミュニケーションの支援や,

ソーシャルメディア上に現れる実生活において必要となる情報へのアクセス支援に

ついて研究を進めています。

教員室: 7D-213 学生研究室: 7D-140

Web: http://cu.slis.tsukuba.ac.jp

教員:1名 学生:4名 OB • OG:30 名

自分の興味を見つける努力をしてください。

企業や自治体との研究交流を積極的に進めています。 ・国際規格開発賞を受賞(2020年9月1日, 2019年12月17日)

- for ISO/IEC 30145-3 (Smart City Engineering Framework) & ISO/IEC 30146 (Smart City ICT Indicators)
- おたがいハマトークに出演(2020年9月16日)
- ・水戸市との共同研究 (Twitter で顧客獲得) が茨城新聞に掲載 (2018年9月18日, 2017年10月2日)
- ・楽天との共同研究(重複レシピの検出)がつくばサイエンスニュース等に掲載(2017年8月20日)





ソーシャル情報アクセス

ソーシャルメディアに現れる多くの情報を利用して、クリエータを検索したり 既存のサービスとは異なるランキング手法を提供

音楽のジャンルと印象を用いた VOCALOID クリエータの検索

(人工知能学会 論文誌採録)





1位: 配合P 2位: ライブP

検索課題との適合度でランキング

題との通台度でランキング

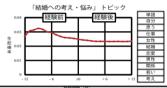
投稿型料理レシピサイト上で重複するレシピの判別

(人工知能学会誌,第 14 回 W(2 研究会学生奨励賞,第 14 回 WI2 研究会学生優秀ポスター発表賞, CEA 2017 採録、W12 研究会第 6 回ステージ発表採択、DEIM2016 優秀インタラクティブ賞) ライフイベントに依存したトピック推移の分析

(情報処理学会論文誌 TOD 採録,ACM SIGIR 2017 採録,DEIM 2017 学生プレゼンテーショ

ン賞、平成29年度茗渓会賞、平成29年度図書館情報メディア研究科長表彰)





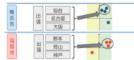
人気レシピの内容的特徴に着目した実用的レシピの判別 (CEA 2014 採録, Best Paper Award) 閲覧者による印象を考慮したイラスト投稿者の検索 (ACM SIGIR 2013 採録)

スマートソーシャルシティ

ソーシャルメディアユーザの情報を分析したり、オープンデータを活用することで 行政サービスの活性化を支援

市民のツイートを用いた分散表現に基づく地名に対する市民の関心の傾向の可視化

(日本知能情報ファジィ学会誌 採録,平成29年度情報学群長表彰)





Twitter ユーザの投稿場所を考慮した属性推定 (ICADL 2016 採録,平成 27 年度情報学群長表彰)

ユーザの投稿場所に着目



ユーザが特定の時間帯に投稿する場所は属性ごとに異なる

地域特有の単語埋め込み表現を用いたイベント参加地域の推定(令和元年度 情報学群長表彰) 市民のツイートを行政課題ごとに分類するための関連語の抽出(平成 29 年度 総代・情報学群長表彰) 外国人観光客の相談相手となりうる Twitter ユーザの推薦(観光情報学会誌 採録、

WI2 研究会 第4回ステージ発表 採択, 平成 27年度 図書館情報メディア研究科長表彰)

地域ユーザに着目したロコミツイート収集手法の提案(DEIM2016 学生プレゼンテーション賞) パブリックコメント投稿者を支援するための行政文書の分割(平成 26 年度 情報学群長表彰) 半教師ありトピックモデルに基づく Twitter ユーザの地域推定(情報処理学会論文誌 TOD 採録、IFAT ヤン グリサーチャー優秀賞、DBS 研究会学生奨励賞、平成 25 年度図書館情報メディア研究科長表彰)

ソーシャルコミュニケーション支援

ソーシャルメディアにおける、より使いやすいコミュニケーションのあり方の提案 新たなコミュニケーションサービスの提供

投稿パターンを考慮したコミュニケーションスキルの分析 (情報処理学会第79回全国大会学生奨励賞)

接拶 礼蘭 お礼 応援 心配

コミュニケーション スキルの高いユーザ



コミュニケーションスキルの低いユーザは特定の時間帯(深夜帯)に集中して投稿

宣伝効果を促進するための親しみやすいツイートへの言い換え (情報処理学会第78回全国大会学生奨励賞)



質問エンコーダを用いた時間関係の分類 (ICADL 2020 採録) 感情推定に基づく顔文字推薦

(言語処理学会論文誌 採錄,情報処理学会 山下記念研究賞,日本語学論説資料 掲載)

読者の完成を発信・共有するためのソーシャル付箋 (電子情報通信学会論文誌 採録、平成 24 年度 情報学群長表彰) Twitter 特有のコミュニケーション表現の抽出

15^(平成 25 年度 情報学群長表彰)

高久研究室の紹介

研究室Webサイト: http://www.slis.tsukuba.ac.jp/takaku-lab/

- 教員: 高久 雅牛(たかくまさお)
- 研究室(居室) 教員:7D208室, 学生:7D221共同研究室
- 学生数(2020年度):12名(学類4年次:5名,修士:4名,博士:3名)
- ゼミ指導:研究室全体ゼミによる進捗報告(隔週)と,個人ごとの指導(毎週)を行い, 研究を進めます。 ※コロナウイルス感染症の影響により、今年度はオンラインツール(Zoom)で指導しています。
- ✓ 図書館情報学と情報学の融合領域の真ん中を扱う研究室です。
- ✓ 「ひとの知的活動をアクティブに支援すること」を目標に、システムの構築や新しいアイデア、実装の提案といった多様なアプローチによる研究を行っています。✓ こんなひとにお奨め
- - □ 情報探索の際の利用者を支援する方法論や利用者の行動そのものに興味がある!
 - □ 電子図書館サービスのための新しい機能やアイデアを実現してみたい!
 - □ ウェブ上で流通する便利なデータセットの公開提供や発見などに貢献したい!

情報探索行動

情報探索行動とは、ひとが情報を求めて行動 する様子を追跡し、それらにかかわる要因をモ デル化し、探索支援システムへの応用等を図る 研究領域です。近年では、ウェブ環境下での記 録機器、ソフトウェア等の発達により、より精 緻に情報探索の過程を計測し、情報アクセスの ために役立てることが期待できます。

高久研究室では、探索過程の記録や、探索記 録からの知識発見、探索者の知識変容の様子を 捉える方法論の開発,特に,探索タスクや情報 ニーズが探索行動にどのように影響しているか 解明することを目指して研究しています。

情報検索

情報検索とは、対象文書群を適切に索引付け し、利用者の情報要求に基づき、ニーズを満た す適合文書を的確に返すための手法にかかわる 研究領域です。利用者の情報要求の分析,文書 構造の同定、文書の索引付け、文書ランキング、 検索結果の評価等の手法に多くの研究課題が存 在します。近年では特に文書種類や情報要求の 多様化と高度化が見られ、ますます多くの研究 が必要となっている研究領域の一つです。

高久研究室では、対象文書のジャンルを特定 した検索システムの構築や,新しい検索手法, 検索インタフェース. 検索評価手法の開発を目 指しています。

電子図書館・Linked Data

電子図書館は、既存の図書館サービスをデジ タル資料やICTツールを用いて補完、強化し、新 しいサービス機能を実現する研究領域です。情 報検索やエンティティ同定,可視化,利用者行 動の分析等の手法を応用したり、現場のニーズ に基づいてサービスの分析や精緻化が求められ ています。近年では Linked Open Data (LOD) の 方法論が注目されています。

高久研究室では特に、検索機能の向上、Web APIマッシュアップによる新しい機能の提案. デ ジタルアーカイブズの活用,LODデータセット の利活用といった研究テーマのもとに電子図書 館の実現に取り組んでいます。



過去の卒業論文テーマの例

- 書誌情報検索におけるゼロヒット問題の類型化とその解決 手法の提案
- ディスカバリサービスにおけるクエリとの関連度を考慮し た情報源提示システムの構築
- 新書本を用いた学問発見支援システムの構築
- 主題情報に基づく文献探索支援の研究 一検索結果の可視化 と主題ファセットを用いた手法一

16

• うろ覚えマンガの探索支援システムの構築

連絡先: 高久雅生

- Email: masao@slis.tsukuba.ac.jp
- Twitter: @tmasao

時井研究室

情報の可視化をテーマに研究を行っています。

知識の集約、伝達をテーマに

2016-2019 年度 AR +絵画鑑賞,知識集約,身近な科学,探究的学習、スポーツと地球儀、Kinect +浮世絵、オノマトペ、調理+論理的思考、数学的リテラシー

2020年度 可視化支援システム、統計学+AR

H.

データから可視化し、 傾向をみる。このサイクルを 簡単にして、データを読み 解く力をつけることができな いか!



自らが作り出した 数値データを使って 統計学を身近に感じ ることができないか?



年間スケジュール

10月 オープンラボ

12-2月 基礎勉強、研究調查、

グループワーク:ミニシステム開発

3月 研究会等で研究調査

4月~ システム開発、実験、論文執筆

3月 学会発表

どんな研究があるのか。どんな技術を習得してみたいか。 などなど、デモ展示をみて、これからの卒業研究をイメージし、 テーマを具体化していきます。

たまに工作 協力して制作!



図書館と共に浮世絵展示 資料の魅力を伝える展示 を目指しています!



ゼミ風景:アイディア出し作業(2019 年度) 2020 年度は、現在 teams をつかって 進捗状況を確認しながらゼミをすすめています!

若林研究室

研究室: 情報メディアユニオン4階 客員研究室 指導教員: 若林啓

研究テーマ

若林研究室では、自然言語処理と機械学習の研究を行なっています。

機械学習モデルを訓練するためには、通常は大量のラベル付き訓練データを作成する必要がありますが、この負担を限りなく小さくすることで、より多様な仕事をAIに任せられるようになると考えています。若林研究室では、Human-in-the-loopシステムによる機械学習モデルの効率的な構築手法や、教師なし学習・転移学習に基づく外部知識を活用した機械学習モデル構築手法、言葉で説明したりフィードバックを与えることで対話的に機械学習モデルを教える自然言語教示手法など、様々なアプローチでこの問題の解決を目指しています。機械学習の中でも、自然言語処理寄りの分野に興味がある人を歓迎していますので、興味がありましたら是非ご連絡ください。

研究をすすめる上で望ましい条件

- 1. 実装力がある、あるいは実装力を身に付けたいという熱意がある
- 2. 必要なら数式にも立ち向かえる

研究室のみどころ

- 1. 自由な雰囲気で作業ができる
- 2. 最新の機械学習手法を学べる
- 3. 研究設備が充実している(個人PC(MacBook)貸し出し、計算用サーバ5台)
- 4. SlackやGitHubを活用した環境

主な活動内容

- 1. 週1回の個別ゼミ
- 2. 手塚研究室との合同ゼミ・合宿
- 3. 自主的な輪講(深層学習など)
- 4. 新メンバー歓迎会

メンバー構成

7名 (D1: 1名 M2: 2名 M1: 1名 B4: 3名)



融合知能デザイン研究室(森嶋・松原・伊藤研究室)



■ 研究室について

2017 年に立ち上げた Human-in-the-loop Big Data & AI の研究を進める研究室です. 2020 年からデータマイニングを専門とする新任の伊藤寛祥先生がメンバーに加わりました.

防災、健康、教育、環境、飢餓、貧困・・・人類が直面する困難な問題を解決するために、人々と計算機の知を結集して立ち向かわなければなりません。本研究室では、人類が史上初めて手に入れた、数十億規模の人々と AI のネットワークを活用し、これらの協力により創出される「融合知能」をデザインする科学技術を確立します。研究のための研究を行うのではなく、世界的な研究成果を出しながら、成果を活用したプラットフォームを自ら開発し、様々な領域の専門家と協力して、これまで諦めていた問題の解決とよりよい社会を実現することを目指します。

■ 研究テーマ&キーワード

Human-in-the-loop Big Data & Al

実践

Human-in-the-loop(ヒューマンインザループ)とは機械が得意な作業と人間が得意な作業を組み合わせて問題を解決する考え方です.今後の社会をデザインする重要なキーワードとして注目を集めています.本研究室では,ビッグデータや機械学習と Human-in-the-loop のアプローチを組み合わせる研究を行っています.

自然災害発生後の被害状況を即座に把握する

世界遺産・被災地の記録を未来に残す

障害者と健常者の共生社会を作る

みんなの力で真実を発見する

AIと群衆が教え学び合う

皆の力を合わせてアプリを作る

市民の意見を集約して市政に貢献する

漫画がより楽しめるようコンテンツを活用する

クラウドソーシング・ヒューマンコンピュテーション ビッグデータ・データサイエンス

ソーシャルネットワーク分析

アヤルネットノーフガポ

データマイニング プログラミング言語設計

ソフトウェア工学

データベース

人工知能・機械学習

認知工学・認知心理学

HCI・ヒューマンインタフェース

クラウドソーシングプラットフォーム Crowd4U の開発を通じて各々が「基盤となる理論」や「フィールド 実践」を研究することが特長です.研究テーマの決め方はプロジェクトを引き継ぐ,新たに与えられる,自 ら提案するなど様々です.

Crowd4U

■ 主な活動

ゼミ週 3 時間(研究,文献調査,開発),個別ミーティング週 1 回,勉強会随時,合宿,国内・海外学会発表

■ 過去の主な進路

大学院進学(情報学学位 P, 情報理工学学位 P), 修士修了後の就職先:Amazon Web Service Japan, クックパッド, DMM, リクルート, ウェザーニューズ, NTT 研究所, NTT データ, NTT ドコモ, キヤノン, コーエーテクモゲームス, 高校教諭, 新日鉄住金, ソフトバンク, 日立製作所, 富士通, みずほ情報総研, Yahoo! JAPAN, 楽天

■ 詳細情報

説明会は10月7日16:00-17:00,8日18:15-19:15を予定しています.

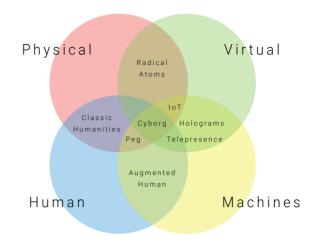
詳細は研究室 Web サイトなどに掲載します. 募集人数: 創成学類3名,知識学類5名

面談問い合わせ先 : fusioncomplab-staff@ml.cc.tsukuba.ac.jp (森嶋・松原・伊藤) https://fusioncomplab.org

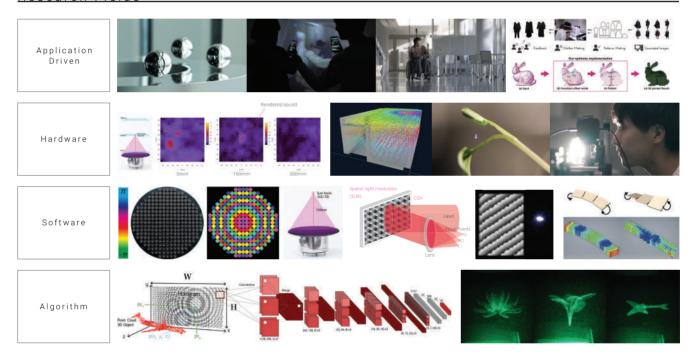
FusionCompLab (Morishima & Matsubara & Ito Lab.)



筑波大デジタルネイチャーグループ(落合陽一研究室)では、計算機基盤の上に成り立つ現代社会以後のメディア研究のために、単なる表示器上のやりとりを超えて、HCI・CG・CGH・触覚・VR・機械制御・デジタルファブリケーションなどの融合領域の研究を行っています。人の性質をモデル化し、数値解析とシミュレーションによって情報通信の問題として定義することで、人と計算機の共存する生態系を目指しています。そのために空間での光や音とのインタラクションや、触覚応用など、レーザーや強力超音波、磁場制御などを用いた研究から、人間の行動制御に関する研究にいたるまで、弊ラボの掲げるデジタルネイチャーに向かって研究しています。



Research Fields



大学院生・学部研究生の他に、筑波大学の先導的体験者体験プログラムにより所属している学部生などがいます。 2021年度は、知識情報・図書館学類からの卒業研究配属は2名を定員とする予定です。

年間を通じて幾つかのプロジェクトを主体的に実施しプロジェクトを変えながら、研究室のメンバーが目指す世界観を研究と展示で見せていきます。1プロジェクトだけでは方向性が見えにくいのですが、複数のプロジェクトをこなしていくことで、見せたい方向性や自分に向いていることがわかっていくことが多いようです。

教員からの指導は、1対1の個別指導ではなく1対多の指導を行っています。本・インターネットによる情報伝達、 議事録・Slack 等を活用し同じことを伝達する無駄を防ぐ、論文添削は内容の戦略・一部戦術チェックなどを行い、 あとは学生同士のチェックが重要となっています

デジタルネイチャー推進戦略研究基盤

教員:落合陽一, 伏見龍樹, Xanat Vargas Meza (図書館情報メディア系)

配属・見学などのお問い合わせの前に、WEBページ「CONTACT」に掲載の「よくある質問 / FAQ」を必ずご確認ください。 wizard@slis.tsukuba.ac.jp



选村裕研究室

Episode XIX

研究分野

大学図書館、学術情報流通、オープンアクセ スを研究テーマにしています

所属ゼミ生

B4が5人、Dが2人、そして社会人院生が多数 在籍しています。教員、先輩から論文作成やプ レゼンテーションのアドバイスを受けられます

ゼミについて

受入人数4名

ブラリアン

週1回、学類生と院生合同でゼミを行います。 研究発表会や大学院入試前はゼミ頻度が増えます。COVID-19が終息すれば春と夏に他大学と合同ゼミ合宿を行います

過去の研究テーマ

機関リポジトリアクセスログの分析 筑波大学附属図書館貸出データの分析 情報リテラシと高大連携 学群生向け蔵書構築の検討一供給可能率を用い た蔵書評価から一 大学図書館における図書分類変更 大学図書館ブランディングモデル 米国大学における日本研究のサブジェクトライ

Contact:

hits@slis.tsukuba.ac.jp

研究環境

逸村研究室は共同研究室7D340に所在しています。ゼミ生に対してそれぞれ席とPC(Win or Mac)があります。プリンターやスキャナー、おやつも完備

年間スケジュール(一例)

2020年12月:研究室仮配属

20211~2月:研究テーマの構想

2021年3月: 春ゼミ合宿@初島

2021年6月: 卒論着手発表会

2021年7~ 月:卒論中間発表の準備

2021年9月:夏ゼミ合宿@蓼科

2021年10~12月:卒論執筆

2021年12月:卒論提出・最終発表の準備

2022年1月: 最終発表会

2022年3月:春ゼミ合宿・卒業式

メディア・インタラクション研究室

今日、私たちはメディアを通じて映像やコミュニケーションを楽しんだり、多くの有用な情報を得たりしています。一方で、有害な映像コンテンツや情報に触れたり、トラブルにあう機会が増えたりするなどの危険もあります。本研究室では、個人のメディア利用、図書館や学校などのさまざまなメディア環境の現状と課題、メディア利用やメディア環境が及ぼす影響などを検討しています。

このような研究を通して、メディアの悪影響を避け、有効に利用していくためには?、より快適なメディア環境を整えていくためには?などについて考えていきます。

🦖 教員: 鈴木 佳苗

🌱 学生: 学類生4名(情報資源経営主専攻)• 大学院生5名

→ 研究テーマ: 「読書やインターネットなどのメディア利用の影響」「メディア教育 や情報教育の実践と評価」「学校や地域における子どもと読書にかかわる取り組みの 実践と評価」「児童図書館サービスの現状と課題」「広告の分析」などがあります。

❤️ 研究室 Q & A (A.: 学生)

Q1. ゼミについて

A. 週に1回ほどのペースでゼミがあります。ゼミの雰囲気はなごやかです。

Q2. 研究のスケジュールについて

A. 12 月からしばらくの間は、自分の関心のあるテーマに関連する文献を調べつつ、ゼミ 全体で研究の方法について学びます。着手発表会までに目的と方法をできるだけ考えて、 その後、調査や実験を始めます。11 月頃から論文の執筆開始です。

Q3. 研究室について

A. 研究室にはメンバーが使用できる PC があります。インターネットも問題なく使えます。 2020 年度はオンラインでのゼミが中心ですが、例年は研究室でゼミや研究の議論を行っています。

Q4. 卒業研究について

A. 2020 年度の卒業研究のテーマは、学校図書館における電子書籍貸出サービス、公共図書館の読書支援や学習支援、学習ログを活用した学習過程の解明です。

A. 現在、対面での調査・実験の実施が難しい状況ですが、オンラインでの調査や実験などへの協力を依頼し、研究を進めています。

₩ 研究紹介(参考 URL):

https://www.tsukuba.ac.jp/public/booklets/forum/forum80/04.pdf

研究室の様子

研究室紹介 吉田右子(研究室116) yyoshida@slis.tsukuba.ac.jp



研究対象

Library History 図書館の歴史

American Public Libraries アメリカ

Northern European **Public Libraries** 北ヨーロッパ

Philosophical foundation of LIS 図書館情報学の 理論

Library services for marginalized populations 移民・先住民・LGBTQへの 図書館サービス

> Librarianship 図書館の実践

現在の研究関心

- 社会的に孤立した人びと ・不利な立場に置かれた 人びと:移民・難民、先 住民、LGBTQ、経済的困 窮者、非識字者
- 研究方法:資料調査・フ ィールドワーク
- 研究課題:文化的格差の 解消にかかわる公共図書 館の可能性



卒業研究の領域と研究方法

- (1) 生涯学習の空間としての公共図書館の役割に関 わる実証的研究(フィールドワークを中心とす る研究です)
- (2) 公共図書館の理念および実践にかかわる歴史的 研究(文献を使った地道な研究です)



Finland

これまでの卒業研究

- セクシュアル・マイノリティの子どもを対象としたアメリカの 公共図書館サービス
- スウェーデンにおける移民・難民への図書館サービスについて
- オーストラリアにおける先住民族に対する公共図書館サービス : ブリスベン市の図書館プログラムに着目して
- 東南アジア諸国のコミュニティ学習センターにおける図書館の 役割
- 教育格差を背景とした子どもへの学習支援の実態



研究室配属から卒業論文提出まで

	別九主癿周川の平未酬又促山よし
12月	研究方法について学びます
1月	研究テーマについていろいろな角度から検討して研 究のフレームを固めていきます
2月	先行研究の調査【ミニ発表会】
3月	研究テーマの確定【春休み・ゼミはお休み】
4月	研究方法と論文構成の検討・予備調査と執筆の開始
5月	予備調査
6月	【着手発表会】研究方法の確定・本調査の計画
7月	本調査
8月	本調査【夏休み・ゼミはお休み・個人指導】
9月	調査の中間まとめ・研究構成の再検討
10月	【中間発表会】追加調査
11月	追加調査の取りまとめ
12・1月	論文の総仕上げ・提出・【最終発表会】

綿抜豐昭研究室

研究分野について

- ・日本の文化に関することで、時期は明治ぐらいまで。
- ・今年度は二人のゼミ生が「つくば」「震災」を研究対象としています。

学生の人数

・毎年度、三人を上限としてます。

年間スケジュール,卒業論文執筆の流れ等

・ゼミ生一人ひとり個別に対応してます。

ゼミの頻度

- ・だいたい週に一回です。
- ・飲食に留意しなければならないので、合宿、飲み会等、団体ゼミ活動はしません。

著作権法の研究室

研究室について

著作権法を中心に、知的財産法(特許法、商標法、不正競争防止法など)に関する研究を行います。研究手法としては、判決や論文等の文献に基づいて、条文等の解釈論、あるいは立法論や制度のあり方を論じます。原則として、学期中週1回ゼミを行います。ゼミでは、各自の研究成果を報告してもらい、報告内容について議論を行います。

主専攻:情報資源経営主専攻

指導教員:村井麻衣子

募集人数:3名

現在のメンバー(2020年度): 学類…1名 (+大学院生1名)

(研究生や大学院生がいる場合は合同で行います)

著作権法の研究とは?

著作権法は、情報の一定の利用行為を法的に規制するものです。そのため、権利者の利益と利用者の利益のバランスをいかに図るかが課題となります。法律のあり方は、社会的・技術的な環境により大きな影響を受けます。現代の社会にとって、よりよい著作権法とはどのようなものか、皆さん自身で考えてみてください。

研究テーマの決め方

自分の興味のあるテーマを選んでください。判例評釈 (特定の判決についての解説)を書くつもりで一つの事例 (判決)を中心に検討してもよいですし、法律上の論点や制度を取り上げてもかまいません。

例えば・・・2020年度のゼミ生の研究テーマ

・音楽教室問題の検討ー利用主体と公衆の判断についてー 音楽教室での演奏に対し、JASRACによる使用料請求が認められるかが 争われた判決について論じています

ゼミの進め方・全体スケジュール

ゼミでは、著作権法の基礎を確認してから(目安:12月~3月)、各自のテーマに関連する資料の内容の発表してもらったり(目安:春 AB 頃まで)、自分の卒業論文の一部を発表してもらう(目安:春 C 以降)という形で進めます。着手・中間・最終発表会の前には、発表資料の確認や発表練習を行います。9~10月頃までに論文の初稿を完成させることを目指し、11月~12月にはその修正や最終発表会の準備を行うイメージです。

関連科目

「知的財産概論」、「知的財産権論 A」、「情報社会と法制度」、「情報法」などの法律系科目が関連します。研究室を希望される場合は、「知的財産概論」、「知的財産権論 A」を履修していることが望ましいです。特に、「知的財産権論 A」では、裁判例や文献の調べ方などについて実践的に学ぶことができるので、この分野に興味のある方は、ぜひ履修してください。

デーノル カサガウ化道ナタナ 全切し アノギナい 原明 かじがたかば ユールですめ

詳しくは・・・卒業研究指導方針を参照してください。質問などがあれば、メールで連絡 してください。

小泉研って、どんなとこ??



当研究室では、図書館の政策、経営、サービス、さらには地域における図書館の在り方についての研究をしています。 2020 年度の卒業生の研究テーマはこちら!

『21世紀におけるニューヨーク公共図書館の革新』

『公共図書館における市民協働のあり方の変遷』

『公共図書館研究における公共圏理論の適用過程』

『ダイクマン図書館における児童・YA を対象としたイベント』

キーワード「**図書館**」を中心とした幅広い研究領域を網羅しています。そのために小泉研といえばこれ!とはなりにくいかも。

小泉先生の専門は公共図書館ですが、大学図書館、学校図書館、民間図書館でも担当してくださいます。やりたいテーマがある場合は諦めずに一度面談に行ってみましょう!

就活など人生相談に乗ってもらうゼミ生もいます…

【研究室の環境】

PC、ソファ、冷蔵庫、電子レンジ、電気ポットなど… 気になる方は **7D220** まで遊びにきてくださいね ♪

【人数・進路】

博士後期課程:8人(うち社会人4人)

博士前期課程:5人(うち社会人2人)

学類生(4年生):6人

進路:司書、公務員(行政)、大学院進学

【ゼミの様子】

議論が活発で刺激になります。研究や発表の課題を発見、 指摘し合うことで論理的な思考が鍛えられます!

3月まではゼミでグループを組んで共同研究を、

4月からは個人の卒業研究を行います。

小泉ゼミー同、皆さんの訪問をお待ちしています!

原研究室

◆研究内容はどんなものですか?

指導教員の原 淳之です。私たちの研究室には、読書離れ や OECD (経済協力開発機構) 加盟国で実施される PISA 読解力テストの結果が注目される昨今の日本や海外において、図書館や読書を取り巻く社会的な問題を考える学生がよく集まっています。例えば、少年少女向けライトノベル作品における相違の分析、小学校男女児童の読書行為や読み物における相違、読書と比較したゲーム受容の特徴の分析、心理学のモデリング理論を踏まえたアニメ作品における少年少女の人間関係の描かれ方の研究など多彩です。図書館における読書支援にも興味があり、デジタル読み物もテーマになります。

◆卒業研究ってどんなふうに進めるのですか?

研究方法は各自のテーマによって、何がふさわしいかを考えながら進めます。質的・量的分析のどちらも考えられます。テクストの語彙を計量的に分析したり、インタビュー調査をすることもあります。エビデンス(根拠となる事実やデータ)に基づいた研究を意識しながら進めます。みなさんはレポートを書くときに、感想のような考察になってしまったことはありませんか。研究では、そうならないように注意する必要があります。研究方法が多様であるせいか、研究室には高校のときの文系/理系を問わず、どちらの学生もこれまで所属しています。

研究指導は教員の研究室で、週1回のペースで行います。 全員で集まって研究報告をしたり、ディベートをしたり、 また、個人指導をすることもあります。論文は各自で執筆 しますが、学類の研究発表会の前には、みんなでプレゼン の練習をしたりもします。

あと、指導教員は、ドイツのテュービンゲン大学日本文 化研究所やベルリン=フンボルト大学の図書館で仕事を したことがあり、その経験からドイツに出張することも何 度かありました。ドイツの図書館は日本の図書館とはとて も異なっています。そのことに興味がある学生もいました ら相談して下さい。

◆研究室の雰囲気は?

明るくて賑やかです。《楽しい企画》を通してチームとしての関係性も深めています。今年度は COVID-19 への対応から難しいのですが、例年は、みんなでゼミ旅行(軽井沢、那須高原、湯西川温泉など)に行き、さらにバーベキューや花見などをする年もあります。海外から研究者や学生が来室するときは、英語でのコミュニケーションにも挑戦してもらいます。ところで《就職先》ですが、国立大学の図書館や事務、独立行政法人の職員、都道府県・市区町村の公務員、公立図書館や学校図書館の司書/学校司書のほか、学校法人、映像・音楽エンタテインメント関連企業、図書館コンサルタント企業、医療研究機関、IT企業など、先輩は全国でさまざまな仕事をしています。先輩が研究室を訪ねてくれるときには話を聞くことができます。



現役ゼミ生(4名)の様子(2019年12月撮影)

ゼミ生による研究室

◆他に学生に伝えたいことは?

研究テーマは最初からきちんとしていなくても、ゼミで 良いテーマに洗練させていきます。自分にとって興味のあ ることが良いです。まずは研究室を訪問して相談して下さ い。研究室訪問の希望をメールで送ってもらえれば、面談 のための時間をお返事します。

的に持ち Ĺ 言って スキ 魅力 友 7 であ 生も含め て 現 キ 談 ま 6 よう 11 を用 達も誘 L れ を 研 ます。 たの たものです。 ポ モッ 究室 かけ 私たち のではないかと思 に、 も過言では て 意して誕 旅 11 口 Ŕ た全員が 行に ・ます。 つてバ はこの つ トーに 何 $\overline{\mathcal{O}}$ 研 れば 囲 لح メン 自 かやりたいこ 究に関することでも、 出 行きました。こ 分の 3 は どんどん実現します。 ーベ 生日 た話 研究 バー 年生 《よく 6月には 楽 聞 な 原 しい 意見を気兼 11 丰 室だっ パ 研 $\dot{\mathcal{O}}$ が の 、です てく が企画 盛 究 ユ 3 月 誕生月にはケ ことを 室 テ 1 ŋ 他 いれて、 ! イ | た 上 0) を \mathcal{O} \mathcal{O} もたくさ 研究室 点ねなく 言うと 旅行 L よく カコ は 積極 -も行 まし が行は より

研究室〇

武田未来さん)

ź し を聞 発散になって こともなくなってしまうので、 おか したし、 自 就 してもらったり。 わ 研 4 職 つき たちの研 気兼ねなく発言できる雰囲 ŋ 究 分 活 た \mathcal{O} げ の カコ $\hat{\sigma}$ かれることがなの卒業研究の なに 動を ŋ 説 でスラスラと話すこと ないことでも良い話みんなで話した内容 悩んだり おしゃ 明 な 話を 究室 は してきましたが、 かな 4 ゼミ 聞 ・ます。 のことや最 は週に1 就 挫 か学類の友 多くあ いてもらっ りを、 /内で随 活を無事 けそうに をワイワイ 私は都 りました。 分やってき 良 (達と会う なった 面 週 に た のは 近 内で企業 V たり、 こができ 切り 種にな 接の . スト 21でお 業がほ -楽しく なか帰 ゼミ 研 \mathcal{O} <u>~</u>らだ り た た た 時 究に 出 場 卒

アーカイブズ学研究室

Archival Science Laboratory

指導教官プロフィール

バールィシェフ、エドワルド(Eduard BARYSHEV) 7D415 研究室、内線 1347、baryshev@slis.tsukuba.ac.jp

研究分野(指導可能な分野):

- *アーカイブズ学理論全般、
- *各国の文書館やアーキビスト養成、
- *国家機関(省庁)内の記録管理、
- *保存記録の管理・利用に関わる諸問題、
- *記録媒体と情報処理、
- *保存資料(史料)と歴史学



古代ローマの双顔神ヤーヌスのように、過 去と未来を同時に見詰めているアーカイブズ学

WHAT ARE ARCHIVES?

①永久保存のために選別され、特別な施設で一定の国家機関・社会団体 や個人の活動の証言として保存されている記録資料の総称、②上記の記録 資料が保存されている機関および施設

⇒ 社会的な進化とともに変容し、多様化してしまったアーカイブズは、今日、「国家や国民の生活から生まれた過去の諸データ」として再定義されつつあります。



保存記録(アーカイブズ)の管理および利用の様子(イギリス国立公文書館、ロンドン)

今日の社会が抱えている諸課題と対応策



イギリス国立公文書館の前

今日の情報時代において、アーカイブズは 再び社会の注目を浴びています。公文書やそ の他の記録資料の電子化、情報技術の普及等が アーカイブズの「通俗化」を促成し、社会科学 の在り方を変えていると同時に、様々な問題を 引き起こしています。

特に、情報資源の多様化およびその断片化は、記録資料の利用を困難にしているため、情報の分類整理やその管理事業が次第に重要性を増しています。国際的・地域的にみれば、アーカイブズの管理状態には、電子化の度合い、アクセス基準などに顕著に表れているような格差があり、それも情報資源の効率的な使用を妨げています。

この状況下において、日本の国内や国外における記録管理・保存に関する歴史と現状を学ぶことにより、「国民の記憶」としても位置づけられる記録管理の水準向上を目指すことは大きな社会的な意義が認められる。

研究•指導方式

- 国際化の時代が求められる幅広い知識を目指しながら、比較社会学的な方法を頼りにして、学生の関心・達成目標に合った個別的な研究の指導を行っています。
- 隔週、ゼミ方式の授業(2時間程度)を行うとともに、個別で相談できる時間を設けます。

人類が今まで作り出した諸記録の遺産に関心をもち、 過去、現在および未来における「文書」の在り方について学び、 国際色のある独創的な研究に取り組んでいきたい人を、 研究室で待っています。

Dear students, I am waiting for your coming!



「知識情報・図書館学類誌 MILK」Web 公開中。 過去のバックナンバーもご覧いただけます。 https://klis.tsukuba.ac.jp/klis_milk/ ご意見・ご感想お待ちしています!

Credit

知識情報·図書館学類誌 MILK 研究室紹介号

- 歳森敦(知識情報·図書館学類長) 2020年10月1日 2020年10月11日 ●発行者
- ●発行日 ●改訂日
- 柳田雄輝 中村紗彩 西岡志織 内田彩水 小菅哲哉 田島尚晴 豊留沙梨那 知識情報・図書館学類 各主専攻の先生方 ●編集部

●協力